

(毎月三百六十九日二十日二十五日二十八日三十一日三十四日三十七日三十日十回發行)

# 縣報

第七百八十六號

明治四十一年七月十五日

# 和歌山縣

## ○公文

○和歌山縣令第三十一號

牛疫發生ニ付獸疫豫防法第十二條第一項ニ依リ左記ノ區域内ニ於テ牛、羊、山羊ノ出入往來竝同區域内ヨリ生皮生肉生骨敷糞糞尿其他病毒傳播ノ疑アル物品ノ搬出ヲ停止ス但他地方ニテ瀝車船船ニ積込ミ全地方ヲ通過スルモノハ此限ニ在ラス  
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年七月十四日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

一 那賀郡長田村粉河町

縣報第百八十六號

明治四十一年七月十五日

第三種郵便物認可

一

縣報第七百八十六號

明治四十一年七月十五日

第三種郵便物認可

二

○和歌山縣告示第百六十五號

農商務省ニ於テ量度衡技術員募集相成候ニ付志望ノモノハ左記各項心得ノ上來ル七月二十日限り  
附歷書ヲ添ヘ當廳ニ願出ベシ

明治四十一年七月十四日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

度量衡技術者講習規程

第一條 度量衡ニ關スル技術者ノ講習ハ商工局長之ヲ管理ス

第二條 講習期間ハ毎年九月十一日ニ始リ翌年一月二十五日ニ終ル但シ時宜ニ依リ之ヲ伸縮スル

コトアルヘシ

第三條 講習生ノ定員ハ毎年之ヲ定ム

第四條 講習生ヲ分テ左ノ二種トス

第一種 地方長官ノ推選ニ係リ左ノ各號ノ一ニ該當スル者

一 尋常中學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

二 採用試験ニ合格シタル者

第二種 採用試験ニ合格シタル者

第五條 採用試験ハ尋常中學校卒業程度ニ依リ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

數學 代數 幾何 三角法 算術 物理 英語

第六條 講習生ニ採用セラレタル者ハ別紙書式ニ依リ誓約書ヲ差出スヘシ

第七條 講習期間中ノ休日左ノ如シ

日曜 大祭日 自十二月十五日至一月七日

第八條 講習ノ學科左ノ如シ

一 法令一班 一 度量衡學 一 物理學

一 機械學 一 實習

第九條 講習ヲ終了シタルトキハ試験ヲ行ヒ合格シタル者ニハ修業證書ヲ交付ス

第十條 第一種講習生コハ月手當拾圓及往復旅費（在官者ニハ其ノ官相當）ヲ支給ス月手當ハ講習開始ノ月ニ在リテハ講習開始ノ日ヨリ講習終了シタル月ニ在リテハ其修了シタル日迄其ノ月

ノ現日數ニ依リ日割ヲ以テ之ヲ支給ス

第十一條 第二種講習生ハ總テ自費トス

但シ授業料ヲ徴收セス

第十二條 講習生ニハ講習上必要ナル物品ヲ貸與スルコトアルヘシ貸與シタル物品ヲ紛失又ハ毀

損シタルトキハ相當代價ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十三條 講習生ニシテ品行不良學業懈怠又ハ講習ニ關スル規則ニ違背シ若ハ成業ノ見込ナシト

認ムルトキハ講習生ヲ免スヘシ

第十四條 第一種講習生ハ修業後三箇年間推選ヲ受ケタル地方長官ノ指定スル處ニ奉職スルノ義務ヲ有ス

第十五條 第一種講習生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ支給シタル手當金及旅費ノ全部又

ハ一部ヲ返還セシムルコトアルヘシ

一 修業中自己ノ便宜ニ依リ講習生ヲ辭シタルトキ一第十三條ニ依リ講習生ヲ免セラレタルトキ

一 前條ノ義務ヲ履行セサルトキ一奉職義務年限中自己ノ便宜ニ依リ退職シ又ハ懲戒ニ依リ職務

ヲ免セラルトキ

一 前條ノ義務ヲ履行セサルトキ一奉職義務年限中自己ノ便宜ニ依リ退職シ又ハ懲戒ニ依リ職務

ヲ免セラレタルトキ

書式ノ一（第一種講習生ノ分）

誓約書

私儀今般度量衡技術講習生ニ御採用相成候ニ付テハ修業中講習ニ關スル諸規則ヲ遵守可致ハ勿論講習修業後ハ三箇年間北海道廳長官（何府縣知事）ノ指定スル處ニ奉職可致又義務不履行ヨリ生スル一切ノ責務ハ保證人ニ於テ引受可申連署ノ上此段誓約候也

本籍 宿所

第一種講習生

氏

名 印

年 月 日

本籍 現住所

氏

名 印

保證人

氏

名 印

農商務省商工局長宛

注意

一宿所ハ講習期間中ノ居所ヲ記載スヘシ

一保證人ハ東京府内ノ公民タルヘシ

一本書ニハ三錢收入印紙ヲ貼付シ各自ニ於テ消印スヘシ

書式ノ二（第二種講習生ノ分）

誓約書

私儀今般度量衡技術講習生ニ御採用相成候ニ付テハ修業中講習ニ關スル規則ヲ遵守可致ハ勿論義務不履行ヨリ生スル一切ノ責務ハ保證人ニ於テ引受ケ納付可仕候連署ノ上此段誓約候也

年 月 日

第二種講習生

本籍 宿所

氏

名 印

本籍 現在所

保證人 氏

名 印

農商務省商工局長宛

注意 書式ノ一ニ同シ

二講習生ノ定員ハ第一種第二種共各十名トス

三講習希望者現ニ度量衡ノ製作ニ従事シ又ハ將來従事セントスル者ハ其旨ヲ願書ニ附記スヘ

四採用試験ハ八月十日當廳ニ於テ之ヲ行フ

五採否ノ決定ハ八月中ニ通知ス

六採用セラレタルモノハ九月九日迄ニ着京誓約書ヲ差出スベシ

○和歌山縣告示第百六十六號

大阪府ニ於テ牛疫發生ニ付左記豫防令發布ノ旨通知アリタリ

明治四十一年七月十四日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

大阪府令第八十號

牛疫發生ニ付獸疫豫防法第十二條第一項ニ依リ左ノ區域内ニ於テ牛羊山羊及其ノ生乳肉皮骨ノ出入並同區域内ヨリ病毒傳播ノ疑アル物品ノ搬出ヲ停止ス但シ漚車船舶ニ搭載通過スルモノハ此ノ

限ニ在ラス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年七月九日

大阪府知事 高 崎 親 章

一 東成郡長居村大字寺岡

一 泉北郡鳳村大字大鳥（大鳥神社以北）

一 泉北郡港村

○和歌山縣告示第百六十七號

兵庫縣及山口縣ニ於テ牛疫發生ニ付左記ノ通豫防令發布ノ旨通知アリタリ

明治四十一年七月十五日

和歌山縣知事 伊 澤 多 喜 男

兵庫縣令第五十三號

縣下ニ於テ牛疫發生ニ付獸疫豫防法第十二條ニヨリ左記ノ區域内ニ於テ牛羊ノ出入往來并同區域

内ヨリ生皮、生骨、敷藁、糞尿其他病毒汚染ノ疑アル物品ノ搬出ヲ停止ス

但シ瀛車積込ノ儘全地ヲ通過スルモノハ此限リニアラズ

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年七月十日

兵庫縣知事 服 部 一 三

一 津名郡都志村一円

但シ萬歳村ノ内角川組ヲ除ク

一 全郡鮎原村ノ内吉田村一円

一 飾磨郡廣村ノ内廣畑村一円  
一 赤穂郡那波村ノ内陸村一円

兵庫縣令第五四號

牛疫豫防ノ爲メ獸疫豫防法第十二條ニ依リ山口縣下ノ關市及全縣豐浦郡ヲ發シ又ハ通過シタル牛、羊、其他病毒汚染ノ疑アル物品ノ輸入ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年七月十日

兵庫縣知事 服部 一三

山口縣令第四六號

縣下下關市并ニ豐浦郡生野村ニ於テ牛疫發生ニ付全地へ當分ノ内牛、羊、山羊ノ移入ヲ停止ス  
但瀛車船舶へ積載ノ儘通過スルモノハ此限リニアラズ

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年七月八日

山口縣知事 渡邊 融

○和歌山縣告示第百六十八號

縣下那賀郡長田村ニ於テ和牛三頭全粉河町ニ於テ全一頭牛疫ニ罹リ本月十二日撲殺セリ

明治四十一年七月十五日  
和歌山縣知事 伊澤多喜男

○和歌山縣告示第百六十九號

牛疫豫防ノ爲縣下那賀郡ニ於ケル畜牛結核病検査ノ施行ヲ中止ス

明治四十一年七月十五日  
和歌山縣知事 伊澤多喜男



○通牒照會

內三第四七二三號

照會

明治四十一年七月十五日

內務部長 佐藤孝三郎

各郡市長殿

町村役場御中

名勝舊跡ト稱スヘキモノニ對シ調査ノ必要有之候ニ付左記標準ニ據リ取調來ル十月末日限回報有之度候

記

- 一 市町村內ニ於テ苟クモ名勝舊跡ト稱スヘキモノハ悉ク掲記スルモノトス
  - 二 名勝舊跡ハ左ノ事項ニ分チ調査スルヲ要ス
    - 1、名稱
    - 2、所在地
    - 3、由緒(名勝舊跡ノ由來沿革等)
    - 4、考證(古記録 書籍 古文書等ニ掲記セル記録)
    - 5、現狀(現今ノ狀態 形狀 廣表 保管ノ方法等)
  - 三 名勝舊跡地內ニ於テ尙ホ名勝舊跡ト稱スヘキモノアルトキハ先ツ全体ニ就キ前記各項ヲ掲ケ更ニ其ノ箇々ニ就キ前項ノ事項ヲ掲記スルモノトス
- 例ヘハ和歌浦ニアリテハ和歌浦全体ヲ叙シ更ニ玉津島、妹脊、望海樓、權現、不老橋、鹽竈等ヲ別叙スルカ如シ
- 四 調査記事ハ可成詳細ナルヘシ

明治四十一年七月十五日 第三種郵便物認可

○觀測

明治四十一年七月十日ヨリ三日間當地氣象概況(前年對照)

種目	七月十日		七月十一日		七月十二日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五六耗七	七五六耗六	七五三耗六	七五五耗三	七五五耗九	七五四耗二
平均氣溫	二二度六	二一度三	二二度六	二二度八	二二度七	二五度三
最高氣溫	二四度九	二五度二	二四度八	二六度五	二七度八	二九度七
最低氣溫	二一度四	一八度八	二〇度〇	二二度一	一八度五	二二度六
最多風向	南々西	西	南々西	西	南西	西南西
平均風力	四米五	二米六	四米九	二米九	二米〇	一米六
天氣	雨	驟雨	雨後曇	半晴	晴	半晴
降水量	二三耗七	〇耗三	六七耗一	一	一五耗六	三耗七
記事現象	終日降雨 夕刻ヨリ南々 西ノ強風吹ク	午前驟雨	午前降雨 曉間強風吹ク 夕刻沿海ノ警 戒ヲ解除ス	1	黄昏驟雨	曉間降雨 午后日暈ヲ映 ズ

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治四十一年七月十四日發行  
明治四十一年七月十五日發行

〔壹頁代價〕  
〔金參圓〕

和歌山縣

印刷人 和歌山市久保町一丁目一番地  
和歌山市久保町二丁目二番地